

おわりに

今回作成した「ＪＲ横川駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」では、ＪＲ横川駅の周辺を、交通バリアフリーを進める地区と位置付けて重点整備地区とし、各事業者が実施すべき特定事業とともに、市民、事業者、行政がそれぞれ協力しながら取り組む考え方を取りまとめました。

基本構想の目標年次は平成２２年（２０１０年）としています。実施すべき事業の中には、ＪＲ横川駅の構内において大きい高低差があり、できるだけ早期のバリアフリー化が期待されるものも、放置自転車や不法看板の防止などやや長い期間での継続的な取り組みが必要なものもあります。もちろん、すべての人が今日からでも始めることのできる「心のバリアフリー」は、目標年次に関わらない、普遍的なものであることは言うまでもありません。

ＪＲ横川駅の南側に位置する駅前広場は、平成１６年（２００４年）３月、再整備され、広島駅に次ぐ本市の陸の玄関口として機能強化されました。この駅前広場を起爆剤とする都市機能の充実や地域のまちづくりがより進展することが期待されます。

今後、このＪＲ横川駅周辺地区において、基本構想に掲げた事業の着実な推進が必要であり、本市としても、適宜、事業者への働きかけを行いながら、バリアフリー化を推進していくよう考えております。